

下肢静脈瘤レーザー治療の紹介

保険適用の下肢静脈瘤レーザー治療導入しました

実施施設 登録番号 H00223 津田沼中央総合病院 実施医 認定証 登録番号 00380 波多野 稔

レーザー手術に関して日帰り入院～1泊2日入院まで対応します。

料 金	1 割 負 担	3 割 負 担
日 帰 り 入 院	約 18,000 円	約 54,000 円
1 泊 2 日 入 院	約 22,000 円	約 66,000 円

血管内レーザー治療のメリット

- ・日帰りもしくは1泊2日入院で手術が可能です。
- ・手術の傷跡1ヶ所で、目立ちません。

血管内レーザー治療のデメリット

- ・一時的に痛み、つっぱり感、皮下出血などが起こる事があります。
- ・新しい治療法であり、日本での長期成績が出ていません。



治療前



治療後

こんな症状はありませんか？

- 足がボコボコしている。 足がだるい。疲れやすい。

医師紹介

Doctor 波多野 稔 (はたの みのる)

【認定資格・所属学会】

日本外科学会専門医 日本脈管学会専門医
日本外科学会(専門医) 日本心臓血管外科学会
日本血管外科学会 日本脈管学会(専門医)
日本静脈学会 日本消化器外科学会

外来受付 金曜日12:30~17:00
※ 14:00より診察

このような症状の方はご相談ください。

血管内レーザー治療とは？

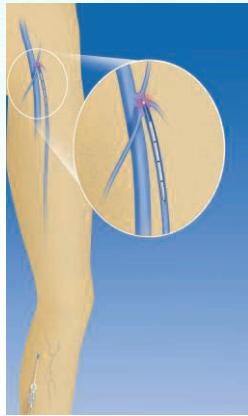
血管内レーザー

治療する静脈の中にレーザー光を導く為の細い光ファイバーを通し、血管内に照射されたレーザーの熱によって静脈を塞いでしまう方法です。

以前から標準的に行われているストリッピング手術は、太ももの悪くなった静脈を手術で取り除きますが、

血管内レーザー治療は血管の中から静脈を塞いで血液を流れなくしてしまいます。

レーザー治療の最も良い点は、一言でいうと、身体に優しい治療で従来のストリッピング手術では足のつけ根と膝の2カ所を切開しなければならないのに対し、レーザー治療では1カ所に細い針を刺す方法、もしくは、数ミリの切開で治療することができます。



ELVeS（エルベス）レーザーは日本国内で初めて下肢静脈瘤治療用の医療機器として承認された“血管内レーザー装置”です。

ELVeS レーザーは下肢静脈瘤（一次性下肢静脈瘤）治療用レーザーとして、世界中で年間10万例以上の患者さんに施行されています。



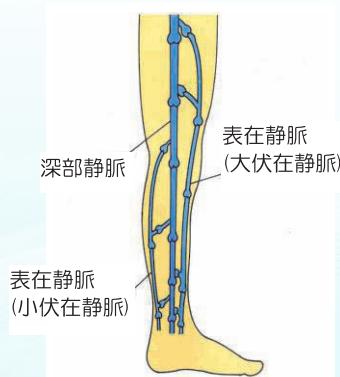
実際の手術風景

下肢静脈瘤とは？



下肢静脈には筋肉の中を走る「深部静脈」と皮膚と筋肉の間を走る「表在静脈」があり、静脈瘤ができるのは皮膚に近い伏在静脈と呼ばれる表在静脈です。

下肢の静脈には血液が重力によって足先へ逆流しないように弁がついていますが、それらの弁が壊れると血液の逆流が起こり、うっ血が生じて血管の拡張や蛇行することによりコブができます。これが下肢静脈瘤です。



下肢静脈瘤が発生しやすい方の特徴

- 女性に多くみられます
- 加齢と共に静脈瘤発生の頻度が増加します
- 親族に静脈瘤がある場合に発生頻度が高くなります
- 美容師、調理師など長時間立つ仕事に従事されている方に多くみられます
- 妊娠・出産をきっかけに発生しやすくなっています

症状としては…

- 足の静脈がコブ状になり、だるい・重い・疲れる・ほてる
- 歩行時もしくは就寝中に、こむら返り（足がつる）を起こすことがある
- かゆみ・皮膚硬結・皮膚炎や湿疹がある
- 皮膚が黒くなる・潰瘍ができている

このような症状の方はご相談ください。